令和８年度(2026 年度)「全国学力・学習状況調査　すくすくウォッチ　６年」結果概要

千早赤阪村立千早小吹台小学校

国　語



・全体的にみるととてもよくできており、平均正答率は大阪府や国の平均値を上回っているものが多い。
・自分の考えを理由や具体例とともに分かりやすく伝える力が身に付いている。
・文章の表現に気づき、経験と結び付けて考えをまとめる力をさらに伸ばす必要がある。

今後の対策

書くこと、読むことに力を入れるとともに、情報と情報を関連付けて読み取る力を育てる
・言葉の意味を正しく理解する力を育てる。
・条件に沿って書く機会を増やす。
・資料を読み取り、関連付けて考え、整理する学習を進める。

算　数



・「数と計算」「図形」などのすべての領域及び「知識・技能」「思考・判断・表現」の両観点において、大阪府や国の平均正答率を上回っている。
・これまで課題となることが多かった図形領域についても、今年度は改善している。
・百分率の仕組みを理解して計算することや、表から条件に合う情報を読み取り、整理することに課題がある。

今後の対策

基礎・基本の定着と、問題を正確に読み取る力を育てる
・基本的なことをしっかり身に付ける。
・問題をよく読んで、考える力を伸ばす。
・割合や表を見て、数の関係を考える力を伸ばす。

理　科

すくすくウォッチ



・「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべての領域の問題で大阪府の平均値を上回っている。
・太陽の位置が時間とともにどのように変化するのかを理解することに課題がある。
・物が水に溶ける量と水の温度との関係を理解し、温度の変化から溶けている物を取り出す方法を考えることに課題がある。

今後の対策

観察や実験から、分かったことを考える力を育てる
・観察や実験の結果を整理し、分かったことを考える力を伸ばす。
・理由を考え、自分の言葉で説明する力を伸ばす。
・学習したことを、身近な生活と結び付けて考える。

わくわく問題

すくすくウォッチ



・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
・図や表、グラフ、文章などの情報を関連付けて読み取り、そこから新たな課題を考える力が身に付いている。
・文章や会話文などの資料から必要な情報を整理し、自分の言葉で分かりやすく伝える力をさらに伸ばす必要がある。

今後の対策

情報を活用して考え、表現する力を育てる
・各教科で、考えたことを自分の言葉でまとめ、分かりやすく伝える活動を進める。
・情報を活用して考え、表現する学習を教科横断的に進める。

児童質問紙・児童アンケートから

・早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活を送っている児童が多い。
・将来の夢や目標を持ち、その実現に向けて自分なりに工夫している児童が多い。
・学習に意欲的に取り組み、自分なりに工夫しながら学習している。また、友達との関わりを通して新たな気づきを得たり、学びを深めたりしている。
・全国的な傾向と同じように、本や新聞を読む時間が少なく、日頃から本や新聞に親しむ機会を増やしていくことが大切である。



本校は小規模校であり、こういった調査では母数が少ないため、全体の傾向を分析しにくい側面もあります。全体の回答率という大くくりの結果だけでなく、個々の設問についての結果や、児童個別の結果を参考にして、授業改善に努めています。

千早小吹台小学校では
確かな力を育むために
様々な取り組みをしています。

学校 HP